



## キャリア教育センター通信 2015年6月

7/13(月)第9回はたらくらぶゼミ

WithYou さいたま公募型共催事業

### 森實摩利子さん「大人のこころのゆるめ方」

はたらくらぶゼミは、さいたまキャリア教育センターがめざす、未来を育む「おとな力」を向上する学びの場です。今回のテーマは「大人のこころのゆるめ方」。絵本を通じて笑顔や涙を開放する「絵本セラピー」について、絵本セラピストの森實さんによる話題提供です。どなたでもご参加歓迎です。



**講師：森實摩利子さん**（絵本セラピスト協会認定絵本セラピスト/さいたまキャリア教育センター会員）

高知市生まれ、さいたま市在住。社会福祉法人で療育や障害児の家族支援に携わるかたわら、2012年から高知県内で絵本セラピーのワークショップを開催。2014年、夫の転勤に伴いさいたま市に転居。さいたま各地でワークショップを開催しつつ、将来、高知で立ち上げる活動拠点の構想を練っている。2014年から、はたらくらぶインタビュー「PEOPLE」インタビュアーをつとめる。

**日時：2015年7月13日（月）10:00～12:00**

**会場：WithYou さいたまセミナー室（さいたま新都心）**

**参加費：1,000円**

**定員：15人 ※託児あり（要予約・有料）**

### 7/23(水)第2回「帝王切開ママの会W」 WithYou さいたま後援

「帝王切開ママの会」は、帝王切開を経験した女性のための小さな集まりです。育児や家事に追われる日々の中で心にかぶせた「フタ」を取って、素直な気持ちを話せる場所をご用意しました。帝王切開カウンセラーの細田恭子さんと一緒に「私のお産」を振り返って、すっきりしませんか。子連れ参加OKです。

**講師：細田恭子さん**（帝王切開カウンセラー/さいたまキャリア教育センター理事）

さいたま市在住。2000年に帝王切開の体験（3回）を公開したWEBサイト「くもといっしょに」を開設、掲示板等に400にのぼる体験談や情報が寄せられ、ユーザー発の帝王切開情報の草分け的存在として知られる。その後、全国各地で「帝王切開ママの会」としてお産の振り返りやユーザー視点での帝王切開講座を行う。著書に『ママのための帝王切開の本』（共著）がある。

<http://withkumo.jimdo.com/>

**日時：2015年7月23日（水）10:00～12:00**

**会場：WithYou さいたま準備室1（さいたま新都心）**

**参加費：1,000円**

**定員：3人**



## 7/9(木)第28回はたらくらぶカフェ 「はたらく」に愛を感じるトークセッション 新井純子さん「ヘルシーカフェのら なう。オカネ」

さいたま市南区の人気コミュニティカフェ店主・新井純子さんのパワフルトーク炸裂！ 経営資源の基礎「ヒト・モノ・カネ」の切り口で「のら」の今を語るシリーズの最終回。夢を形にするために必要な資金、のらさんではどんなふうにしていらっしゃるのか、新井さんに、ホントのところを聞いちゃいましょう。どなたでもご参加歓迎です！

ゲスト：新井純子さん（ヘルシーカフェのら店主）

日時：2015年7月9日（木）14：00～15：30

会場：ヘルシーカフェのら（さいたま市南区）

参加費：2,000円（1ドリンク付 ※ソフトドリンク）

定員：15人



## 8/21(金)第3回はたらくらぶW 生き方・働き方にまつわることを楽しく学ぶ 小峰弘明さん「コミュニティビジネスの大家さん実感トーク」



「コミュニティビジネス」とは、地域の課題をビジネスの手法で解決する取り組み。地域を元気にし雇用を創出するものとして期待を集めています。さいたま市南区で「ヘルシーカフェのら」と「BABA ラボ」および「じぶんらしい仕事づくりを応援する家のらうら」に場を提供する大家さんとして、6年目をがんばり中の小峰弘明さんにお話をうかがいます。個性豊かな店子たちとの出会いや、コミュニティビジネス拠点から描く未来の社会などなど秘話満載（予定）。

講師：小峰弘明さん（のら&のらうら大家）

1983年埼玉県庁に入庁し、高齢者福祉、子育て支援等の仕事に従事。2005年、現在の「ヘルシーカフェのら」代表の新井純子さんのレポート「コミレスは子育て支援の要」に共感。2009年、実家の庭に店舗付き住宅を建て、その1Fに「のら」を誘致。2011年、母の転居により空き家になった2階建ての住宅を「BABAラボ」を含む「じぶんらしい仕事づくりを応援する家のらうら」に賃貸。「のら」の広報やボランティア、広報紙「しかてぶくろ新聞」の編集などを通じて、「のら」や「のらうら」を応援中。

日時：2015年8月21日（金）10：00～12：00

会場：WithYouさいたまセミナー室（さいたま新都心）

参加費：1,500円（会場費等を含む） 定員：15人

## 理事コラム「“ありがとう”の反対の言葉」

▼先日、あるホームページ\*でこんな問いを見つけました。「あなたは”ありがとう”の反対の言葉を知ってますか？」▼答えは「あたりまえ」だそうです。「ありがとう」の語源「有難し」はあることがむずかしい、めったにないという意味で、その反対語は「あたりまえ」。なるほど。▼家族が笑顔で朝「行ってきます！」と言ってくれること、一緒にご飯を食べて「おいしい！」と言ってくれること・・・そんな毎日の出来事は「あたりまえ」ですが、かけがえのない奇跡でもあります。▼「いつも通り」がどんなに大切かは「いつも通り」じゃなくなると気がつかないんですよね。祝日などが無い6月、身のまわりでステキな「あたりまえ」を探してみませんか？（細田）

※@Heaart (<http://heaaart.com/post/52776>)

